

令和5年度社会福祉法人九戸村社会福祉協議会事業報告

現在九戸村は、少子高齢化が顕著に進み、令和5年度末の人口は昨年度より137名減少し5,186名、高齢化率は45.7%、出生した新生児は8名となり、人口減少が深刻な状況となっております。また、家族形態の変化等に伴う高齢者世帯・ひとり暮らし高齢者の増加、物価上昇等による生活困窮者の増加等、支援を必要とする世帯が益々増加しており、地域における課題は増大している状況です。

そのような状況のなか、第1期九戸村地域福祉活動計画の最終年度であり、3つの基本目標であるアウトリーチの徹底、相談・支援体制の強化、行政とのパートナーシップを掲げ活動してまいりました。

またコロナ禍により当協議会事業が多大な影響を受けてまいりましたが、令和5年度は殆どの事業においてコロナ禍以前の活動に回復することができました。しかし、介護保険事業においては、少なからず感染症（コロナ、インフルエンザ）の影響を受けることとなり、今後も予防対策等に万全を期して、さらに介護サービスの充実を図ってまいります。

加えて、老人クラブ・身障団体・ボランティア団体等への支援を行い諸団体の活動を推進し、九戸村シルバー人材センターとの連携のもとに、高齢者の就労の機会を拡大するなど地域社会とのつながりもより一層深めてまいります。

次に続く第2期九戸村地域福祉活動計画（期間令和6年度～令和10年度）を策定いたしました。令和6年度以降、村の地域福祉計画を念頭に、4つの基本目標を掲げ村の福祉の向上に取り組んでまいります。

1. 法人運営事業

当協議会の基盤事業であり、法人運営の効率化・組織強化を図るとともに、住民の参加と財政基盤の確立を目的として全世帯の加入を推進し88.2%にあたる世帯より会費のご協力をいただきました。また、村より当協議会運営のための補助金をいただきながら、会の運営をいたしました。

○一般会費収入 1,289,400円 (700円×1,842世帯)

○社会福祉協議会運営補助金 5,600,000円

○組織体制の強化

・理事会の開催

令和5年6月1日 第1回理事会

令和5年6月19日 第2回理事会

令和5年7月26日 第3回理事会

令和5年11月20日 第4回理事会

令和5年12月5日 第5回理事会

令和6年3月18日 第6回理事会

・評議員会の開催

令和5年6月19日 定時評議員会
令和5年12月5日 第2回評議員会
令和6年3月26日 第3回評議員会

・出納調査、決算監査の開催

令和5年5月22日 令和4年度第4四半期分出納調査及び令和4年度分決算監査
令和5年7月19日 令和5年度第1四半期分出納調査
令和5年10月26日 令和5年度第2四半期分出納調査
令和6年1月19日 令和5年度第3四半期分出納調査

・業務打合せ会（全部署代表による） 月1回開催

・業務改善会議 介護事業所各部署 3か月毎に開催

・職員研修会 内部全体研修年4回開催、内外各部署研修年 35回

2. 地域福祉事業

村からの受託事業で、九戸村に居住する高齢者等を対象として、病院への定期通院時で月2回を限度とし、車椅子仕様車、及びストレッチャー仕様車での移送サービスを実施いたしました。

また、介護予防自立支援事業の一環として、65歳以上の独居高齢者・高齢者世帯のうち希望する方々に対し、安否確認を兼ね週1回の配食(300円)サービスを実施いたしました。

○移送サービス事業受託金収入 393,000円

- ・登録者数 5名（令和5年度末）
- ・実利用者数 5名
- ・年間利用件数 21件

○給食サービス事業受託金収入 754,000円

○給食サービス利用料収入 319,500円

- ・登録件数 24件（令和5年度末）
- ・年間配食数 1,065食

3. ボランティア活動推進事業

村からの受託事業で、ボランティアの育成を図ると共に、各ボランティア団体活動への支援、各関係機関との連絡調整、企画立案等を行い、ボランティア活動の推進に努めました。

○ボランティア活動推進事業受託金収入 4,911,000円

○ボランティア登録者数(令和5年度末) 個人32名、団体14団体(197名)

○ボランティア育成事業

- ・災害ボランティア講習会 令和6年2月13日 開発センター 30名
- ・キャップハンディ体験学習 伊保内小学校

○ボランティア活動事業

- ・声の広報朗読ボランティア 延べ65名（高校生、一般）
- ・地域ごとふれあいサロン 5ヶ所（5団体）延53回開催、
参加者683名、ボランティア178名
- ・給食サービス配達ボランティア 延131名 提供回数51回、1,065食
- ・修繕ボランティア 社会福祉施設 年間18回実施
- ・福祉バザーガレッジセール 令和5年7月17日実施、2団体17名、
令和5年9月9日実施、4団体28名
- ・子育てサロン 参加親子29組、子34名、親32名、ボラン
ティア20名
- ・おでかけサロン 令和5年8月9日、普代・久慈・大野、28名
参加

4. 水中ウォーキング事業

村からの受託事業で、水中で負荷を軽減した運動を行うことで体力の維持増進を図り、介護予防に資することを目的として実施いたしました。

○水中ウォーキング事業受託金収入 6,361,000円

- ・週2回（月、木）開催、年間開催回数99回、参加者延人数560名

5. 生活管理指導員派遣事業

介護予防、介護保険非該当の村内在住高齢者（概ね65歳以上）の日常生活支援を目的として、村からの受託事業を計画いたしましたが、利用実績はありませんでした。

6. 訪問介護事業

介護認定者を対象として、居宅において家事援助、身体介護、通院介助等日常の生活支援を実施いたしました。

○介護保険事業収入 9,356,180円

・訪問介護事業（利用者延人数）

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合事業	39	52	54	54	48	46	51	51	48	49	47	42	581
要介護1	45	40	39	68	82	55	59	67	73	69	68	70	735
要介護2	41	42	44	18	16	36	51	49	61	48	40	45	491
要介護3	26	36	13	9	11	16	45	41	38	49	58	65	407
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	19	25	25	32	29	31	67	69	68	47	44	19	475
計	170	195	175	181	186	184	273	277	288	262	257	241	2,689

7. デイサービス事業

日常生活支援を行い、閉じこもり防止、いきがづくり、介護度進行の抑制等を目的として、介護予防、介護認定者のデイサービス事業を実施いたしました。

○介護保険事業収入 40,098,365 円

・通所介護事業 (利用者延人数)

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合事業	234	237	237	244	243	221	254	231	214	213	209	210	2,747
要介護1	113	121	120	113	119	103	103	94	93	89	81	90	1,239
要介護2	69	80	85	80	69	71	89	94	93	98	75	108	1,011
要介護3	49	48	49	47	53	49	54	52	43	44	56	55	599
要介護4	4	3	4	3	5	4	3	2	4	5	3	1	41
要介護5	0	3	7	4	4	0	6	2	0	0	0	0	26
計	469	492	502	491	493	448	509	475	447	449	424	464	5,663

8. 総合福祉センター管理運営事業

村からの受託事業で、総合福祉センターでは、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、訪問看護ステーション、障がい者地域活動支援センター、居住部門、当社会福祉協議会等が業務を実施している他、機能回復訓練室の各機器及びカラオケルームは、デイサービスの使用時間帯を除いて、広く住民に開放いたしました。

○総合福祉センター管理運営受託金収入 17,770,000 円

○居住部門食事サービス利用料収入 (300円×7,341食) 2,202,300 円

○居住部門電気利用料収入 122,015 円

○令和5年度末入居者数 7名

9. ひとり暮らし高齢者の集い事業

「いきいきふれあい集会」を開催し、村内のひとり暮らし高齢者が顔を合わせ、歓談を通して孤独感の解消や相互の親睦を深め、老後の生活を豊かなものにすることを目的として実施いたしました。コロナ禍により2年ぶりの開催となりました。

在宅高齢者福祉事業受託金収入 383,000 円

○参加費収入 24,000 円

○令和5年11月28日(火) 午前10時～12時実施

○参加者 48名

10. 共同募金助成事業

県共同募金会からの配分金を財源として、各福祉団体・施設等への配分、および福祉活動への援助を行うと共に、歳末たすけあい配分委員の協力のもとに低所得世帯等への援助活動に努めました。

(1) 一般募金配分金収入（赤い羽根） 1, 396, 782円

自主財源繰入金

3, 702円

計 1, 400, 484円

区 分	金 額	事業名	金 額	実施内容
老人福祉活動費	292,023	ひとり暮らし高齢者の集い事業	5,000	令和5年11月28日、HOZ ホール、48名参加
		おでかけサロン事業	20,000	令和5年8月9日、普代・久慈・大野、28名参加
		ヤクルト給付事業	34,020	利用者2名、ヤクルトレディによる安否確認
		買い物支援事業	182,840	第1.3.5水曜日、26回実施、登録者数22名、延べ317名
		高齢者総合相談事業	50,163	留守録機能電話設置により24時間対応
障がい児・者福祉活動費	20,000	活動支援センターエール活動費	20,000	活動助成金
児童・母子福祉活動費	220,000	福祉協力校助成事業	210,000	村内7校を福祉協力校として指定し、福祉活動を奨励。助成金1校30,000円
		子育て支援事業	10,000	子育てサロンの実施、サロン室の開放
福祉総合支援事業費	868,461	ボランティアセンター運営事業	180,180	非常食、テント
		ボランティア連絡協議会助成金	20,000	活動費の助成
		スノーバスターズ活動事業	21,383	見守り・除雪6回（ボランティア17名）、除雪5回（ボランティア延5名）
		ボランティア活動保険	70,700	202名分保険料、振込手数料
		住民支えあいマップづくり事業	53,851	山根地区マップ更新作業2日間
		健康福祉大会事業	33,869	令和5年11月19日開催
		心配ごと相談事業	128,880	弁護士による無料法律相談、年6回実施、相談件数19件
		リユース事業	29,438	制服、運動着等のリユース活動、クリーニング代
		広報活動事業	330,160	社協だより印刷代（年4回発行のうち2回分）
計	1,400,484			

(2) 歳末たすけあい配分金収入 972,000円

区 分	金 額	内 訳
在宅者配分金	728,000	8,000円×91名
施設配分金	102,000	村内3施設 利用者114名
地域福祉活動費配分	142,000	村内通所介護3施設 利用者194名
計	972,000	

11. 九戸村福祉基金造成事業

村全体の福祉に活用することを目的として、各団体・個人等からの寄付金を基金として積み立ていたしました。

○令和5年度末福祉基金積立額 26,609,585円（内本年度分134,552円）

12. 助け合い金庫運営事業

生活上又は医療継続上、その他生計維持のために一時的に現金を必要とし、かつ他から融資を受けることのできない方を対象として実施いたしました。

○令和5年度新規貸付額 0件

○令和5年度末貸付残高 306,500円 8件

13. 生活福祉資金運営事業

岩手県社会福祉協議会からの貸付・債権回収業務の受託事業で、民生委員の協力を得ながら、所得の少ない世帯、障がい者世帯、要介護者世帯、高齢者同居世帯等に対して、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図ることを目的として実施いたしました。

また、償還中の方には、それぞれの方々の状況確認等行いながら資金が有効活用されるよう指導いたしました。

○生活福祉資金受託金収入 371,300円

○令和5年度末貸付在高件数 18件

○令和5年度新規貸付 0件

○令和5年度生活困窮等に関する相談 78件

14. 地域活動支援センター運営事業

障がい者が地域において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、創作的活動・生産活動の機会の提供と社会との交流を図るため、村の受託事業として実施いたしました。

○地域活動支援センター事業受託金収入 12,080,000円

○支援センター開所日数 239日

○登録利用者数 令和5年度末 5名

○利用者延人数 507名

15. 障がい福祉サービス事業

障がい者が地域社会で自立した生活を送ることができるよう、居宅介護事業（ヘルパー派遣事業）を実施いたしました。

- 自立支援費等収入 640,190円
- 登録利用者数 令和5年度末 5名
- 延派遣回数 282回

16. 学童保育事業

勤労世帯等における小学校児童のうち、放課後等に保護を要する低学年を中心とした児童を対象として、遊びや生活の場を提供し児童の健全育成を図るため、村から受託し実施いたしました。

- 学童保育事業受託金収入 10,155,000円
- 令和5年度末登録人数 51名
- 令和5年度利用者延人数 6,973名

17. 高齢者就労支援事業

高齢者が追加的収入を得るとともに、健康を保持し、生きがいをもち、地域社会に貢献することによって、より有意義な生活を送ることができるよう村から受託し、九戸村シルバー人材センターとともに村内の高齢者の就労を推進いたしました。

- 高齢者就労支援事業受託金収入 3,201,000円
- 令和5年度末会員数 63名
- 令和5年度受注件数 444件
- 令和5年度受注金額 18,922,743円

18. 地域訪問支援事業

令和4年9月から村より受託した事業で、住民が住み慣れた地域で孤立することなく安心して、自分らしく暮らし続けることができるよう、安否確認や見守りによる生活課題の早期発見、必要なサービスや専門機関へのつなぎを目的として実施いたしました。

- 地域訪問支援事業受託金収入 5,106,000円
- 世帯訪問件数 延376件

19. 居宅介護支援事業

対象者の生活機能、健康状態等を把握し、対象者に最もあったケアプランを作成するとともに、それに基づいて指定居宅サービス事業者との連絡調整等を実施いたしました。

- 介護保険事業収入 11,974,370円
- 令和5年度ケアプラン作成件数 858件
- 令和5年度末サービス提供人数 79件

◇その他

・ 第1期九戸村地域福祉活動計画（平成31年度～令和5年）の推進

計画の最終年度、買い物支援事業、またスノーバスターズ事業の小中高生による見守り活動も一人暮らし高齢者に定着いたしました。さらに、村委託事業の地域訪問支援事業の実施により、計画の基本目標である支援を要する住民の方々へのアウトリーチの徹底に繋がりました。在宅訪問を含めた見守り、安否確認活動、加えて行政の担当課との情報共有により専門機関、サービスへスピード感をもって繋ぐことができました。相談・支援体制の強化についても、生活困窮者への相談対応、介護等に関する相談等、様々な事案に対応いたしました。行政とのパートナーシップにおいては、地域ケア会議、情報共有会議等を通じ、より一層連携が強化されました。

・ 第2期九戸村地域福祉活動計画の策定について

村の地域福祉計画を念頭に第2期の地域福祉活動計画（令和6年度～令和10年度）を策定いたしました。また、第1期の評価も含めての住民へのアンケート調査、数値による九戸村の現状を踏まえながら策定し、九戸村地域福祉活動計画策定委員会において審議いただきました。

さらに、第1期の地域福祉活動計画にひき続き、『ともに生き、ともに育み、安心して暮らせる地域社会を目指して』を基本理念に、4つの基本目標を掲げ事業を推進してまいります。

基本目標1 一人ひとりの幸せを支え、一人ひとりが主役となる地域づくり

基本目標2 笑顔あふれる安全・安心な暮らしを支える地域づくり

基本目標3 将来の九戸村を支える福祉を担う人づくり

基本目標4 住民の身近な社協としての体制・仕組みづくり

・ 日常生活自立支援事業

高齢者や障がい者が地域で安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、またそれに伴う日常的金銭管理の実施については、問合せがあったものの契約に至らなかったため、令和5年度末時点では、利用契約者は0名となっております。今後とも、事業のお知らせ・普及活動を進めてまいります。

・ 福祉団体等への支援活動

団体事務局を行い、各団体の活発な活動に繋げることを目的として支援活動を担いました。各団体とも、コロナ禍以前まで活動が回復しました。

<支援福祉団体事務局>

九戸村共同募金委員会事務局、九戸村老人クラブ連合会事務局、九戸村身体障害者協会事務局、九戸村ボランティア連絡協議会事務局、九戸村シルバー人材センター事務局